

計画事業番号	00430	事務事業名	防災資機材整備事業	担当部署	総務部防災・庁舎建設課	電話	3342
--------	-------	-------	-----------	------	-------------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	災害対策基本法49条			
事務事業開始年度	-		個別計画等	北広島市地域防災計画			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章) 美しい環境につつまれた安全なまち	
	(第 4 節) 防災体制の充実	
	(施策 1) 防災対策の推進	
2 対象	市民(計画対象:被害想定避難者7,924人)	
3 目的と内容	<p>災害への対処や災害時の避難場所等における市民生活の安定を図るため、防災資機材や備蓄食糧品等の生活関連物資を備蓄する。</p> <p>また、大規模災害時には、市や消防等の公的機関による活動が機能するまでの間、自主防災組織の果たす役割が大きいことから、救助・応急対策等に必要とする資機材(救助工具セット)を市がまとめて購入し、自主防災組織に貸与する。また、福祉避難所における備蓄品の整備を行う。</p> <p>なお、指定避難所等における備蓄品の整備については、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、福祉避難所における備蓄品の整備については、平成28-30年度に地域づくり総合交付金(福祉避難所機能確保促進事業)を活用する予定である。(12施設、1施設当たりの上限額は3年間で1,500千円、交付率:1/2)</p>	
4 実施内容(手段)	28年度まで	<ul style="list-style-type: none"> ●食糧品や防災資機材の購入 ●自主防災組織等に貸与する救助工具セットの購入 ●福祉避難所における備蓄品の整備 ●防災備蓄物置の購入
	29年度	<ul style="list-style-type: none"> ●食糧品や防災資機材の購入 ●福祉避難所における備蓄品の整備 ●防災備蓄物置の購入

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
防災資機材の購入 備蓄食糧品の購入 防災備蓄物置の購入 福祉避難所用備蓄品の購入	<p>【防災資機材】毛布100枚、寝袋50個、避難所開設セット18セットなど</p> <p>【備蓄食糧品】2,416食(粉ミルクを含む)</p> <p>【防災備蓄物置】3台</p> <p>【福祉避難所用備蓄品】ストーブ6台、発電機8台、投光器14台など</p>	<p>防災資機材の購入</p> <p>備蓄食糧品の購入</p> <p>防災備蓄物置の購入</p> <p>福祉避難所用備蓄品の購入</p>		<p>防災資機材の購入</p> <p>備蓄食糧品の購入</p> <p>防災備蓄物置の購入</p> <p>福祉避難所用備蓄品の購入</p>			<p>防災資機材の購入</p> <p>備蓄食糧品の購入</p>

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	引き続き、食糧等の生活関連物資、防災資機材の備蓄を計画的に進める。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			8,611		9,486		9,125		2,678	
事業額	直接事業費	国支出金	3,000		3,000		2,000		1,600	
		道支出金	2,549		3,000		3,000		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	3,062		3,486		4,125		1,078	
	① 合計	8,611		9,486		9,125		2,678		
額	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
		③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
		④ =②×③	420	0	420	0	420	0	420	0
総事業費①+④			9,031		9,906		9,545		3,098	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①食糧品備蓄量	目標値	15,800	15,800	15,800	15,800
		実績値	10,300			
	②救助工具セット貸与数量(指定避難所等への配布を含む)	目標値	89	89	89	89
		実績値	64			
③福祉避難所における備蓄品の整備完了箇所数(H30年度完了予定)	目標値	0	0	12		
	実績値	0				
④	目標値					
	実績値					
成果指標	①	目標値				
		実績値				
	②	目標値				
		実績値				
	③	目標値				
		実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	市民の防災に対する意識が高まる中、万が一の災害に備え、食料や資機材を確保することは行政の責務である。また、救助工具セットの貸与は、自主防災活動に取り組んでいる団体を対象としており、特定の団体に偏るものではない。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	食料及び防災資機材については、概ね計画どおりの備蓄となっているが、自主防災組織等に貸与する救助工具セットは、保管場所等の問題から申請を見合わせている団体がある。助成制度の活用など、保管場所の確保に向けた、周知啓発が必要である。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	食料及び防災資機材は、万が一のための備えであるため、費用対効果で評価できるものではないが、各品目については、費用、消費期限等を考慮し、整備を進めている。救助工具セットの貸与については、地域における防災意識の高揚及び防災活動への契機となっている。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	食料及び防災資機材の購入については、万が一の災害に備えた整備であり、性質上経済性による評価はなじまないが、今後についても、消費期限等を考慮しながら計画的に整備していく必要がある。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--